



法の光 (法光山 妙勝寺 通信)

No.263

2021年(令和3年) 11月 1日発行

文責 大岩 清人

—朝日の本堂半鐘—

第740回 お会式のご案内

コロナワクチン接種が宍粟市で行き渡りつつあります。昨年はコロナ禍で餅柱を取りやめ、白餅をご宝前にお供えし、行事を縮小してお会式を執り行いました。散発的に感染があるようですが、今年は最善の対策をして従来に戻し、妙勝寺のお会式が執り行えればと思います。※正式な日程・内容は10月31日の総代・世話人会にて決定されます。変更があるかもしれませんがご了承下さい。

11月23日(祝日) 11:00より本堂にて第740回お会式法要
12:15頃より昼食
13:15頃より法話
14:30頃終了予定

11月の日程

11月3日(祝日)	14:00より	婦人会班長会議	会議室
	15:00より	婦人会全体会議	会議室
11月19日(金)	9:00より	餅米洗い・テント張り(餅つき:雨の場合)	
11月20日(土)	9:00より	餅つき・花作り・掃除	
11月21日(日)	9:00より	餅色つけ	
11月22日(月)	9:00より	餅切り 餅柱・本堂飾りなどの準備	
11月23日(祝日)	11:00より	当山お会式法要	
11月24日(水)		お会式塔婆・お餅 配布	



夜泣き霊碑取材

10月8日ケーブルテレビが夜泣き霊碑の取材に来られました。宍粟市の文化財を紹介する動画を宍粟市の依頼で作るようです。市役所の文化財課の田路さんの説明に取材の女性は「え～そうなんですか？綺麗な女性がお城の石橋の上で切られたんですか・・・」と驚きの反応をしていました。さてどの様な編集になるのか・・・。

餅柱 ー陰のご苦労ー

お盆にお参りした時、畑に多くの水槽が並べてあり、水が溜められていました。これは何に使っているのだろうと尋ねると、畑の水は天水しか無いので水槽にためているとのことでした。

長年にわたりお会式の餅柱に餅米を寄進して頂く光岡家の農業の大変さを水槽から知ることになったのです。

揖保川^{いぼ}と蔦沢川^{つたざわ}の合流地点当りに三津はある。目の前を二つの川

が流れているが、段丘となり集落は高台にある。その高台にかつての神河^{かみかわ}中学校と蔦沢^{つたざわ}中学校が合併して山崎東中学校が建設されている。

この地区は昔から水に苦労された話を聞いた。目の前に川があるにもかかわらず・・・「前は向こうにため池があったんです。その水で田や畑に水を潤したんです。ため池が無くなり、揖保川からポンプで水をあげていたんですが、そのポンプは大水の度に詰まるし大変でした。皆さん田んぼを止められてポンプもうち止めになりました。」

「昔から大変な農業の中から餅米を寄進して頂いてたんですね。」「それくらいしかさせてもらうことが出来なかったんだと思います。」と謙遜されながらお話下さいました。先々代や先代は知っていたのでしょうか。「毎年寄進して頂くことは大変なことやで・・・餅柱が出来る事に感謝やで・・・」と耳にはしていたものの、今年になってはじめてご苦労を知ることとなりました。

「ごめんな。苦労を聞いていなくて、そうだったんか。ありがとうございます。」

「私らが元気な間続けさせてもらいます。」餅柱はこれまでにお知らせしたように全国でも珍しく、数えるくらいしか無い貴重な物です。その数少ない中で粟四ヶ寺で行われてきましたが、一ヶ寺お止めになり今は三ヶ寺になってしまいました。檀家さんは昔からある行事で、どこのお寺でも行われているとお思いでしょう。当たり前の光景なんです。でも、そうではないんです。餅柱を造るのは大変な作業ですが、貴重な文化遺産だと思います。光岡家代々のご苦労とお気持ちを大切に続けていきたいと思っています。



「娘がテレビに出るの…」

幼なじみと久しぶりに会い話しているとテレビに出る話となりました。娘さんは音楽を志し、国立音大へ。バイオリンを専攻し主に教える立場で活動されているとのことでした。「何に出るの?」「読売テレビの『イッテ Q』で、芸人のみやぞんさんがバイオリンに挑戦する指導をするの。」

9月26日 お彼岸法要の夜でした。8時からの『イッテ Q』を ON。90日間で葉加瀬太郎さんが弾く情熱大陸のエトピリカを弾きたいという企画でした。

バイオリンを買うところから始まり、いよいよ練習になりました。先生は秋久知美さん。(テレビに出られているので名前をお知らせしました。お母さんは山崎在住の蒔絵師・秋久鳳霞さん)

みやぞんさんは優れた身体能力で色々な事に挑戦しクリアされてきました。バイオリンでも急速に修得し徐々に弾けるようになっていきます。ポイントポイントで映像は編集されていましたが、秋久さんの指導は大変だったと思います。葉加瀬太郎さんと会って指導を受け、いよいよ90日目の発表となりました。秋久さんのピアノに合わせて演奏が始まるとお見事。弾きこなしています。途中、緊張から手が震えだしたものの弾き切ったのです。二人に拍手でした。

妙勝寺様

手紙が届きました。「長年にわたり大変お世話になって参りましたが、今般の感染症の影響と店主の高齢化により、成文堂として商売を続けていくことが困難になりました。」という内容でした。

本町筋に面してお店はあります。「法の光」の封筒や西洋紙をお願いしてきたお店です。手紙を読むやその足でお店に行きました。

「長い間お世話になってありがとうございました。」という挨拶から始まって、お店が閉まる残念な思いを話しました。亡くなられていますがご主人は父と友達で二代にわたってお付き合いをしました。

「筆をもらっていきます。」と在庫の筆の中から買い求めました。「それと封筒と西洋紙をお願いします。」と「法の光」の材料を注文したのです。

お上人。「法の光9月号の『拝啓 父上様 母上様』良かったわ～」と評価頂いた。「どこかからの引用ですか?」「いいえ、思いつくまま文章にしました。」

10日ほど後、再び会うと「特高兵士の遺書に通じるものがある、引用されたのかと尋ねたんです。」そこまで終末の人生を意識していないが思いを書いた。

Cool Japan クールジャパン

Cool は「冷たい・涼しい」という意味で英語の時間になった。しかし、外国人が日本文化について Cool と評するのを聞いてどうも使い方が違うぞ。

調べてみました。「もとはアフリカ系アメリカ人のブルーカラー層が『イケてる』『カッコいい』といった意味で使っていた俗語だったものが、20世紀末になって広がり、日本などを初めとする英語圏以外の文化圏でも広く使われるようになったといわれている」とインターネットのウィキペディアに解説してあった。

英語の辞書をひもとくと、1. 涼しい・冷たい・・・5. (口語・もと米)すてきな・すばらしい とありました。高校時代の辞書ですから話し言葉として使われていたのです。英会話どころでない小生の世界ではありません。

近年、TV で Cool をよく耳にするようになったのも英会話が浸透している為で BS 放送の Cool Japan という番組で、外国人から見た日本の素晴らしさを取り上げる所に、新たな日本認識を見いだしています。



外国人が日本文化に触れて Cool と思う事象は沢山あります。1. 治安が良い。駅や電車で寝ている人がいることが信じられない。2. 礼儀正しい。きちんと列を作って並ぶ。3. 時間厳守。交通機関も時間通りに走る。4. 優しさとおもてなし。5. 清潔なトイレ 6. 自動販売機の普及 7. 豊かな食文化 8. 真面目。落とし物が見つかる。9. 自然・四季を楽しむ文化。等をあげています。

インドへ何回か旅して思ったのは水のことです。「封のしてある新しいペットボトルの水を飲んで下さい。」とガイドは必ず言います。一流ホテルの水道の水でさえ飲まないで・・・と言うのです。雑菌や不純物が多い硬水なのです。硬水はカルシウムやマグネシウムが多く、飲むと下痢の原因になります。

その点、日本の水のほとんどは軟水であり、雑菌や不純物を取り除いていますからどこでも飲めるのです。水道が普及していなかった頃、自然に濾過された地下水を井戸で汲んで飲んでいました。今も地下水をくみ上げ水道水として使用しているところがほとんどです。

水に不自由のない日本はありがたいと思います。我々の生活では当たり前のことですが、外国人が公園にある水飲み場が Cool と指摘します。